



銅賞 [町破壊] 三木京子
賞を頂き有り難うございます。今後共精進致します。昨今の自然の猛威に驚くばかりです。



ホルベイン賞 [竜の月渡り] 月舘弘明
更に創作を続けてゆく先で素敵な作品を多くの人にお届け出来ればと思っております。



マツダ賞 [椿] 石川静子
自宅に咲いた椿を描きたくなり描いてみました。葉の重なりや奥行きを出すのに苦労しました。



クサカバ賞 [ザルツブルグの大道芸 (オーストリア)] 白鳥隆
ザルツブルグのチョコレート屋の前で楽しい音楽を奏でている3人の大道芸人に調和と感動を覚えた。

受賞候補作品 会員



JAG展特別賞
「ミカちゃん」未確認地底物体
青木中学校美術部十二名
沢山の素晴らしい作品の中に本校生徒の作品を出品でき、そのうえ賞まで頂けた事は大変光栄です。柳沼美術顧問先生より



[野鳥の森] 和田愛子
軽井沢の涼しい真夏のどこからか聞こえてくる小鳥の鳴き声、そんな景色が描けたらと思いました。



[Helsingborg] 目黒 勲
海峡の向こうは丁抹。ここ瑞典側のヘルシンボリ。黄昏近い港町を見下ろし昔日の繁栄の面影を追って筆を急いだ。



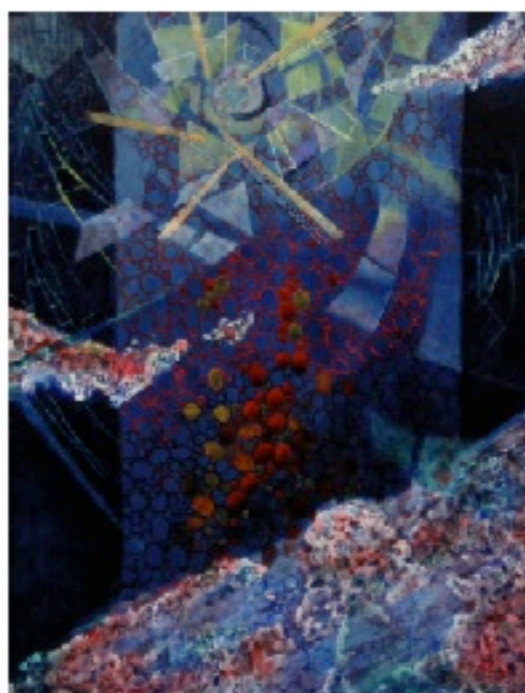
「樹木は詩う」高橋正子
よく散歩に行く四季の森、木々は風に吹かれて、さまざまな表情をみせます。その情景を描きたくて。



「saudade」児山勢以吾
存在しないものを頭の中で体験していると、宇宙が見えてくる。



「並木道(山形)」松本幸一
夏の太陽の光が覆い被さる木々の透き間から、こぼれ日が、山居倉庫の壁面に絵模様を描いていた。



「生」曾我志緒美
生と死をテーマに描いてきました。生命の根源的なものを2枚のパターンで表現に挑戦してみました。



「アオザイ」竹辺孝
光の方向が分かる様に陰影を強調した表現を試行しています。まだ不十分ですが、少し光が...

準会員



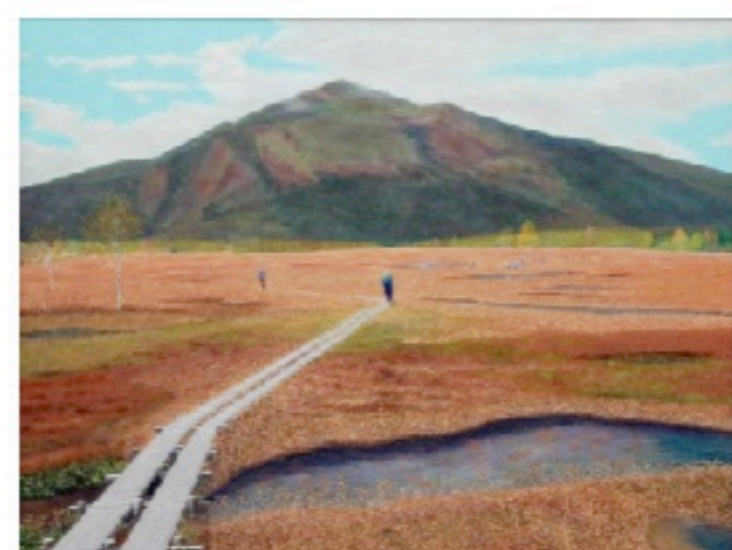
「承らえて神代樹」江川宏
樹齢二千年を超える老樹も幹の傷みが酷くなった。さらに承らえて咲き続けるよう祈念し描いてみた。



「環口かん口」丸山佳子
じっと目の焦点を少し奥に合わせると、リングの饗宴がはじまる。形と色の対比ゾーンが絶妙に交錯する。



「念」壬生琢也
今の心と書いて念と言う。今しかなく、唯、心しかないのだろう。寂滅の時、心は消え果てるのか。



[風の音] 風間晴夫
秋が深まる尾瀬ヶ原を散策した時の感動を表現してみました。秋風が草紅葉を渡って行きました。



[荒磯] 江夏徳美
暴風が過ぎて数時間、未だおさまらぬ荒波と乾燥し始めた岩肌の静けさを描きたかった。



[朽ちる浜の小屋] 刀柝悦子
海水浴、地引網と賑わった故郷の浜に立つ、漁師小屋も解体される運命か、思い出深い景色を残したいと思った。

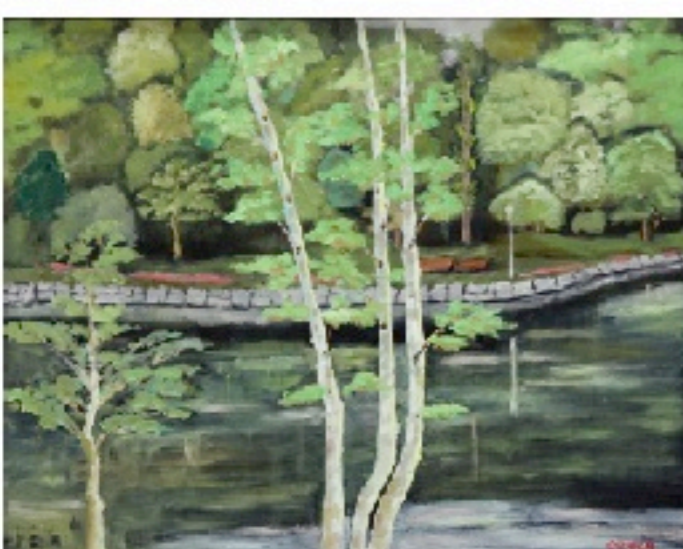


[開港記念会館] 宮崎満子
横浜の異国情緒がある港町が好きで二度程度足を運んでここだと決めました。色の濃淡が足りず反省。

「静物」武石とき子
花、壺、花瓶、置物等をモチーフにして描く静物が好きで、これからも挑戦し続けたいと思います。



賛助会員・公募



[公園の朝] 小原 晃
家の近くの公園の朝の風景です。多くの渡り鳥が羽を休めている早朝の水面と緑の公園を描きました。

[水道橋(セゴビア)] 岸本厚美
ローマ時代から続く2000年の歴史に高なる鼓動が今も鮮明に蘇ります。忘れられない人類遺産の一つです。



「ワエルカム」橋爪 義一
薄暗い路地にあるみやげ物店で、パレリーナーが口いらっしやいませ口と言っているようであった。



平成27年の展覧会スケジュール

- 2015春季JAG展
アートガーデンかわさき
平成27年4月21日～4月26日
10:00～18:00 (初日13:30～)
(最終日15:00閉)
- JAG湘南展
藤沢市民ギャラリー
平成27年6月16日～6月21日(予)
- JAG東京小品展
世田谷美術館
平成27年8月11日～8月16日(予)
- 第38回JAG展
東京都美術館
平成27年11月17日～11月24日



(株)美術年鑑社発行の1/21号新美術新聞に第37回JAG展の記事が掲載されておりました。事務局からのお知らせです

※詳細が決まっていない催事は期日のみ載せてあります。出品案内やホームページ等で期日が近づき次第、係から告知いたします。